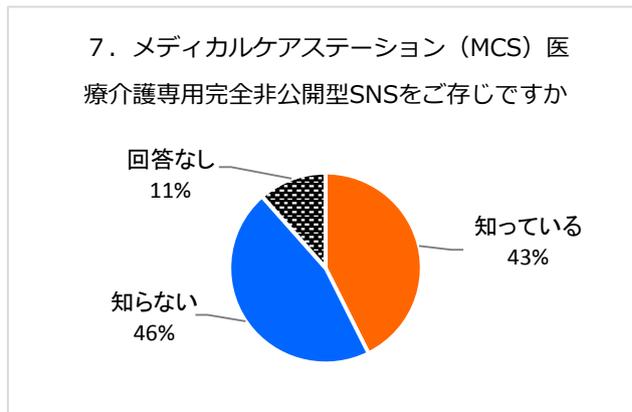
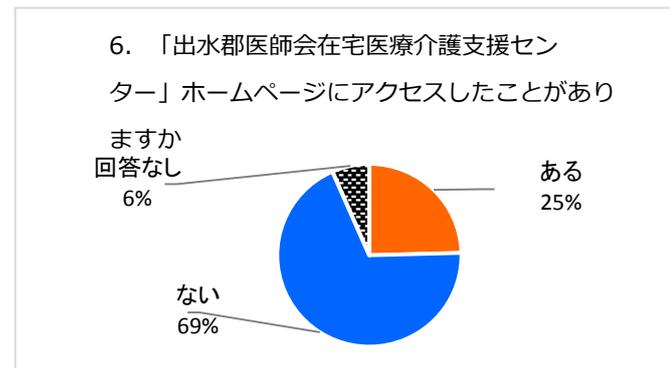
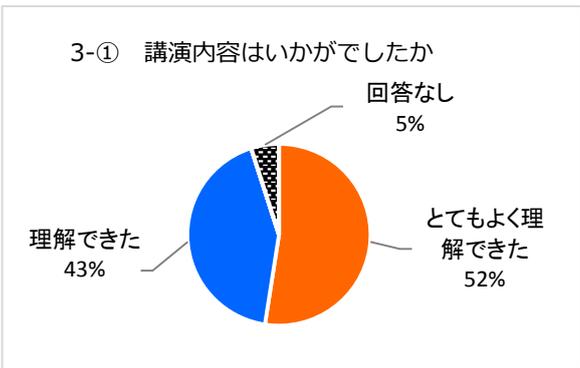
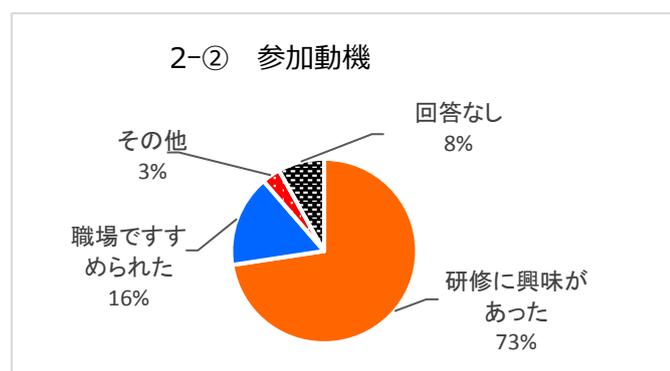
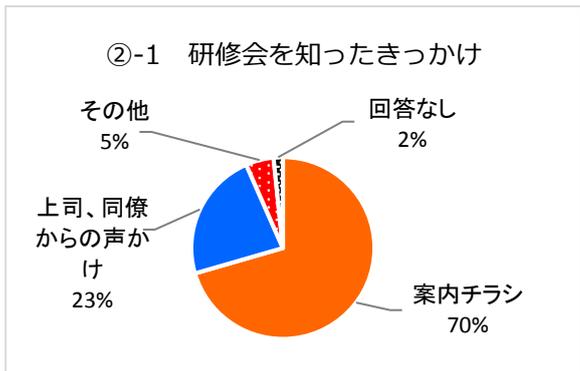
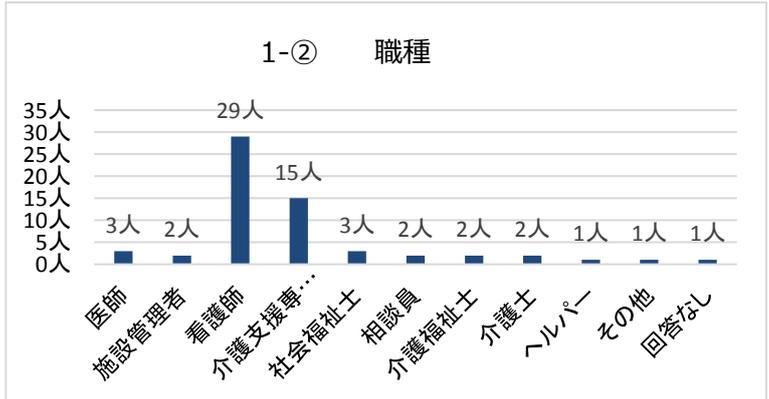
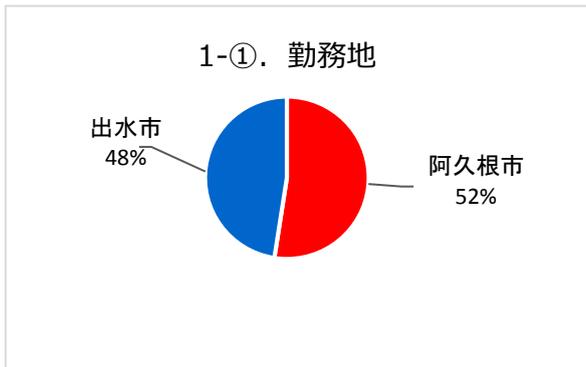


2019年度 医療と介護をつなぐ看取り研修会(全体)

4/19 広域医療センター 65名参加 アンケート回収61 回答権65名 回答率93.8%



3-② 講演の感想

- ・講師の話が解り易く、丁寧で聞きやすかった。(他1件)
- ・情報交換の大切さを感じ、今後仕事をするうえで活かしていきたい。(他2件)
- ・グループワーク多かったので、他の施設職員の方と互いに話し合い着地点を一緒に見出すことができ色々な意見が聞けて良かった。(他11件)
- ・今後仕事をするうえで、活かしていきたい。(他1件)
- ・普段深く考えることのないテーマであり、グループワークによって様々な思いを聞く事ができた。

- ・お互いの気持ちを大切にすることを学ぶことができた。
- ・グループワークの基本の確認から始まるグループワークが素敵だと思った。
- ・グループワークをすることで、とても楽しく研修を受けられた。
- ・難しい内容だった。
- ・自分自身が質問の意図を上手く理解できないことが多かった。
- ・初めての内容の研修会であり、今後経験を増やしたい。
- ・施設の看取りが優れている理由がよかった。
- ・尊厳、自己決定支援の大切さが理解できた。
- ・看取りについて深く考え本人の心境・思いを考える機会になり勉強になった。(他2件)
- ・急変時対応、看取りについてとても勉強になった。(他1件)
- ・看取りケアを実施したこともあり、これからまた大いに取り組んでいきたいと思う。
- ・現在看取りをしていないが、今回参加できいい経験ができた。今後看取りを行うことがあれば、是非取り組んでいきたい事が多く勉強になった。
- ・日頃から看取りや本人の思い、家族の思いを知っておくことは大切だと思った。(他2件)
- ・考えが変わった。今までより看取りを視野に入れて考えられるようになった。
- ・死を追及する機会はなかなか無く、死を想定した話をする大切さと向き合うことの大切さを学ぶことができて良かった。
- ・連携の取り方について悩むことが多い。お互いに聞いてみるという大切なことを学べた。
- ・多職種連携の大切さを再認識できた。(他1件)
- ・連携、協働について上手くいったときのイメージをもつ事で、どんな事をしていったらよいか考える行動の指針になると思った。

4. 研修会に参加したことで、今後取り組んでいきたいことがありますか。(個人として・職場として)

- ・本人、家族の意思を大切に、ご本人らしさに視点を向けた関わりをしたいと思った。(他11件)
- ・入居者、家族との信頼関係構築。
- ・患者を全人的にとらえていく。
- ・ご本人らしい最期が迎えられるよう、ご本人が輝くことが出来るプラン作成。
- ・多職種による連携について、更に話し合いの場を設けていく(看取りも含め)
- ・状況別の対応は検討していたがその先の事は考えていなかったので、一步踏み込んだ所まで考えていきたい。
- ・情報共有、多職種連携。(他1件)
- ・亡くなる場所がどこであっても、本人らしく亡くなるができるよう、家族の思いを大切に亡くなった後に悲しい思いをされないような関わりをしていく。
- ・個人として終活、職場として情報共有。
- ・今後も研修会へ参加し、施設看取りや急変対応についてしっかり学ぶ。(他1件)
- ・死生観を聞いてみる。
- ・現在もしているが利用者としてしっかりコミュニケーションをはかる。利用者に前向きになってもらえるように元気を与えていく。
- ・入所時の急変、看取りのマニュアル化。
- ・職場の職員と看取りについてもっと考える機会を設け、取り組んでいく。

【課題】

- ・スタッフの死に対する不安、苦手意識を持っている。話し合いの場、記録方法に慣れていない為不安に思っていることが多い。
- ・看取りまで利用者をお世話したい気持ちはあるが、職員全員の理解、同意が得られない中では難しい。また医師の協力が得られないと難しい。
- ・施設における看取りについて報酬UP。夜間は職員(看護師も含め)が少ない。

5. 今後、施設における看取りを推進するうえで研修会で取り上げて欲しい具体的な要望(研修内容やテーマ)をご記入ください。

(施設職員以外)

- ・看取り時の主治医との連携の仕方(他1件)
- ・死を受け入れることが家族を含めてできるような研修(スタッフの経験が少なく慌ててしまうため)

(施設職員)

- ・小規模多機能などの地域密着型サービスを提供している施設での看取り
- ・認知症への抗精神薬処方とケアの注意点
- ・認知症の方への思い
- ・急死時の連携の仕方
- ・医療機関、かかりつけ医との看取りの連携の仕方
- ・死に向かうときの体の状態

